令和８年１０月２１日

各行政区長　様

占冠村長　田　中　正　治

移動献血車「ひまわり号」の来村について

日ごろから村政執行にあたりご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、例年多くの皆様にご協力をいただいております移動献血車「ひまわり号」が裏面のとおり来村しますのでお知らせいたします。

つきましては、貴区内一般にご周知いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（占冠村役場住民課保健予防担当　56-2122）

裏面あります

移動献血車「ひまわり号」が来村します

献血事業には、多くの皆様のご協力をいただきありがとうございます。

さて、下記の日程で移動献血車「ひまわり号」（北海道赤十字血液センター）が来村しますのでお知らせいたします。



献血は身近なボランティアです。ぜひこの機会にご協力をお願いいたします。

献血にはおおむね20分程度を要します。

記

【日　時】

令和８年１０月２７日（火曜日）
９時３０分から１１時１５分まで

【場　所】

占冠村総合センター前

WEB予約用
ORコード

あなたの献血が医療の現場を支えています。

人間の命を維持するために欠くことのできない血液は、まだ人工的に造ることができません。
さらに血液は生きた細胞で、長い期間にわたって保存することもできません。
輸血に必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、絶えず誰かの献血が必要となります。

400ミリリットル献血のご協力で、
患者さんへの負担が軽くなります!!

人間一人の血液は、たとえ血液型が同じでも微妙に違っています。
このため複数の献血者からの血液を一人の患者さんに輸血すると、副作用（発熱、発疹など）が発生する可能性が高くなります。
４００ミリリットル献血への協力が増えることで、より少人数での輸血が可能になり、輸血の際患者さんへの負担をより軽くすることができるのです。

献血のおねがい



当日は、20名以上の400mL献血協力が必要です

１０月２７日（火）
占冠村総合センター

【受付会場】受付車内

9:30～11:15

Webからのご予約

献血者の皆さまへ重要なお知らせ

献血Ｗｅｂサービス「ラブラッド」アプリ版のサービスを一時的に停止しています。
なお、Web版ラブラッドでは引き続き、予約・事前問診・検査結果の確認をご利用いただけます。
詳細はこちらから　→　https://www.jrc.or.jp/donation/blood/news/2026/1016_loveblood.html

予約・事前問診回答キャンペーン



ラブラッドから予約&事前問診回答していただき
献血にご協力いただいた方が対象！

歯磨き粉（オーラツー）

1 個プレゼント！

※無くなり次第終了となります。
事前検査、問診により出来なかった方は、対象外となります。



※イメージ

ラブラッドでの当日予約は、ご希望時間帯の1時間前まで行えます。

Webサイトでの予約方法

ご予約する献血会場は、以下の方法からお選びいただけます。





Step1
会員ページより【献血者コード】・【パスワード】を入力し、ログインを押す。



Step2
会員ページより【献血予約】を選択。



Step3
【日付から探す】・【都道府県から探す】のいずれかを選択。



Step4

※時間選択画面より、白抜きの時間帯につきましては、すでに予約枠が埋まっておりますので、恐れ入りますが別の時間帯を選択ください。



Step5
希望献血時間の選択。



Step6
【予約する】を押して、予約完了です。その後、ご登録いただいたメールアドレスまたはLINEに予約内容が届きます。



Webサイトからの事前問診回答は、こちら
※受付会場へお越しになる15分前まで入力をお済ませ下さい。

※200mLの献血は、当日の血液在庫状況により、ご協力をご遠慮いただく場合がございます。ご了承ください。
※当日の問診内容の結果により、献血をご遠慮いただく場合もございます。

献血バスでの献血手順

① 受付・問診回答



玄関やロビースは受付専用車両で受付をします。

受付専用車両



② 献血バスへ移動



③ 問診・事前検査



医師による問診、血圧・脈拍を測定します。次に、指先から少量の血液を採取して貧血の心配がないか調べます。



④ 採血



検査で問題が無ければ採血ベッドへ移動します。採血時間は5分～10分程度です。

⑤ 休憩



献血後は、バスの後方で休憩していただきます。最後に献血カードをお渡しして終了となります。

①～⑤まで、通常35分程度で終了いたします。なお、混雑状況によって所要時間が前後する場合がございます。

服薬について（全血献血）

- **当日服薬でも献血可能な薬**
  →降圧剤（複数可）・コレステロール・鼻炎の薬・尿酸値を下げる薬（痛風）
- **当日服薬してなければ献血可能な薬**
  →痛み止め・風邪薬（市販）
- **服薬中3日間不可な薬**
  →抗生物質・血糖値を下げる薬・精神安定剤

※一部お願いできない薬もあります。



お薬手帳、または、お薬の名前が分かるものをご持参ください。

献血をご遠慮いただくケース

- 海外から帰国（入国）して４週間以内の方。
- ３日以内に出血を伴う歯科治療を受けた方。
- 24時間以内にインフルエンザの予防接種を受けた方。
- **2**週間以内に新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査（PCRまたは抗原検査）で陽性になったことがある方（無症状も含む。）
- 過去に輸血（自己血を除く）や臓器移植を受けた方

※その他、医師の問診により献血をご遠慮頂く場合もございますので、ご了承ください。

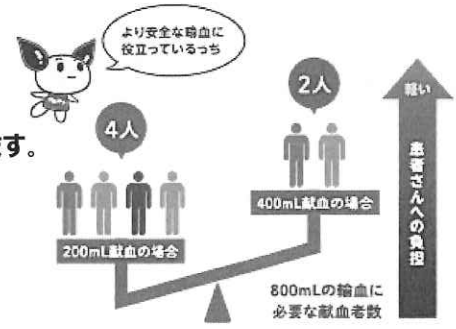
献血の基準を満たしている方は、ぜひ、400mL献血をお願いします！

主な献血基準	全血献血	
	200mL	400mL
年齢	16歳～69歳※	男性：17歳～69歳※　女性：18歳～69歳※
体重	男性：45kg以上　女性：40kg以上	男女とも50kg以上
最高血圧	90mmHg以上180mmHg未満	
最低血圧	50mmHg以上110mmHg未満	
脈拍	40回／分以上100回／分以下	

※65歳以上の献血につきましては、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

どうして400mL献血が必要なの？

一人ひとりの血液は、たとえABOとRhの血液型が同じでも他の血液型が微妙に異なっています。そのため、ひとりの患者さんに使われる輸血用血液製剤が、より少ない人数の血液によってまかなわれていればいるほど、**輸血後の副作用（発熱・発疹など）発生の可能性が低くなります。**



200mL献血について

北海道では、医療機関から依頼を受ける**約95%**が400mL献血による血液製剤であり、200mL献血による血液製剤は**約5%**と大変少ない状況です。

なぜ200mL献血の依頼が少ないの？？

一人ひとりの血液はたとえ血液型が同じであっても微妙に異なっており、複数の献血者の血液を合わせて患者さんに輸血をするほど、副作用発生の可能性が高くなります。

このことから医療機関では、体格の小さな小児、心臓の予備機能が低下している高齢者などの特別な場合を除いて、**400mL献血由来の血液製剤が使用される**ため、また、血液は長期間保存できないため、北海道内の各献血会場ごとに、200mL献血の協力必要人数を定め、200mL献血由来の血液製剤が過剰にならないよう、各会場でご協力をいただいております。

そのため、200mL献血の必要量が各会場において確保できた場合には、**200mL献血の受付を終了させていただく場合がございます。**

献血の現状につきまして、ご理解いただきますよう引き続きよろしくお願いいたします。